

(2019年度) 第46回 道南バドミントン大会〔大会要項〕

函館地区バドミントン協会

- 1 主催 函館地区バドミントン協会
2 期日 2019年9月23日(月)〔祝日〕
3 会場 北斗市スポーツセンター (北斗市本郷2丁目5-1) ☎77-7200
(旧 大野町体育館)

競技種目	部門	種目	複	
一般	1部	(男)(女)	複	1MD・1WD
	2部	(男)(女)	複	2MD・2WD
	3部	(男)(女)	複	3MD・2WD
	セミベテラン部	(男)(女)	複	SV-MD・SV-WD
ベテラン部	付則「2」参照	複	V-D(男・女の区分なし)	

9:00～ 〔開場〕	会場設営(会場設営のための早入りなし) 〔公開練習〕 (監督会議) 開会式→(終了後)競技開始
※会場使用時間(9:00～17:00)	

- 6 参加資格 ①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人(大学生・高専生を含む)で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録を完了した者。
(当日の加盟登録も可)
②高専生は、4年生以上の者。
③エントリー法については、3ページ「付則」を参照のこと。

- 7 競技規則 ①本年度(公財)日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。

- 8 使用器具など ①本年度(公財)日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。
使用球は、(公財)日本バドミントン協会検定球とする。(地区協会で購入)
②服装については(公財)日本バドミントン協会検定合格品を着用すること。

- 9 競技方法 ①各種目とも原則としてリーグ戦により予選を行う。但し、参加数が多数の場合や会場の状況などによりトーナメント戦で行う場合もある。試合形式については、地区協会：競技委員会で検討し決定する。

- ①〔リーグ戦による予選及び順位決定戦について〕
(1)予選をリーグ戦で行う。
(2)各予選リーグの上位のペア同士により1位～3位までの順位決定戦を行う。
(3)その他の順位決定戦については組合せ会議において競技委員会で検討する。
(4)順位決定戦の組合せは抽選による。(フリー抽選による)

- ②〔トーナメント戦による予選及び順位決定戦について〕
(1)予選をトーナメント戦で行う。
(2)初回戦の敗退者同士による「交流戦」を行う。
(3)順位決定戦については原則として1位～3位までの決定戦を行う。
(4)その他の順位決定戦については組合せ会議において競技委員会で検討する。
(5)順位決定戦の組合せは抽選による。(フリー抽選による)

※「交流戦」については下記の「付則」を参照のこと。

10 競技に関する諸注意

- ①該当種目内の出場申込数が「1」のみで、試合の成立が見込めない場合は、当該選手に確認のうえ、以下②の各項目に準ずる。
- ②組合せ会議後のエントリー選手の変更については、監督会議の場で協議する。
- (ア) (1)出場を取り消しにする。
 (2)希望により、他の種目(但し、年少者の種目)に編入することも可とする。
 (3)この場合は組合せ会議時に競技委員会で検討する。
- (イ) (1)リーグ戦の場合はオープン参加としリーグ戦内の全試合は行うが、その勝敗数はリーグ戦内に成績よる順位決定のための算定材料にはしない。
 [従って、同一リーグ内の残りのチームの対戦成績のみで順位を決定する]
 (2)トーナメント戦の場合は次回戦への勝ち上がりはできないものとする。
- ③予選試合終了後、順位決定戦に移行する際に諸準備のために若干の休憩時間を設ける場合がある。

11 参加料

①	1部：種目	一人1種目 (1800円)
②	2部：種目	一人1種目 (1500円)
③	3部：種目	一人1種目 (1500円)
④	セミベテラン部：種目	一人1種目 (1500円)
⑤	ベテラン部：種目	一人1種目 (1500円)

- ① 大会当日の棄権及び選手変更の場合の参加料については返戻しない
 ② 参加料は大会当日に、会場にて受け付けます

12 申込方法など

- ①所定の用紙(様式1：参加申込一覧)に、競技種目別に「男子は黒」・「女子は赤」記入すること。
- ②個票は不要です。
- ③不備のものや電話による申し込みは受け付けません。
- ④「様式1：参加申込一覧」を郵送またはFAXでも可。
- ⑤ **申込締切日 2019年9月12日(木)：必着のこと**
- ⑥ 申込み先 | ☎042-0914 | 函館市上湯川町36番8号
 能登谷 芳之 (宛)
 [TEL・FAX] 0138-59-3136 (自宅)

13 組合せ会議について

- ① [日時] 2019年9月14日(土) 13:30~
 ② [場所] 函館大妻高等学校
 ③ **函館地区バドミントン協会がシード法で行う。(公開しています)**

14 その他

- ①開会式の前に代表者会議を行うので、各チームの代表者1名は放送の指示に従って参集すること。
- ②一般・年齢別の種目に出場する者は、背面に「所属チーム」を表示すること。(高さ6cm~10cm、横30cm以内)
- ③「競技規則」の改定[第9条 第1項]
 (6) サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体がコート面から1.15m以下でなければならない。

- 15 審判について
- | | |
|---|---|
| ① | リーグ戦及びトーナメント戦とも試合の空いている選手を中心に相互審判で主審・線審を行う。(指名：割り当て制) |
| ② | 敗者・勝者に関係なく審判を行ってもらう。 |
| ③ | 原則として、予めプログラム内に指名して記載しておく。 |
| ④ | 競技進行状況によりお手すきの方(選手・見学者)に審判をお願いすることがあります。よろしくお願いします。 |
- 16 練習時間
- | | |
|---|-------------------------------|
| ① | 会場準備終了後に設けるが、特に、コート割り当ては行わない。 |
|---|-------------------------------|

(付則)

1 エントリー方法

- | | |
|---|--|
| ① | 一人当たりの出場枠は〔1種目〕のみとする。 |
| ② | ダブルス種目において年齢区分の異なる選手同士がパートナーを組んで出場する場合には、「年少者」の(種目)に出場するものとする。 |
| ③ | 「年長者」が「年少者」の種目に出場することは可とする。 |
| ④ | 「年少者」が「年長者」の種目に出場することは不可とする。 |

2 年齢区分について

一般部門	1 部	(ア) 年齢による制限なし。 (但し、満30歳未満の者で、高校・高専での大会への出場経験者で、個人戦の種目で地区ベスト8となった者は1部で出場すること) (イ) 前年度、1部種目での優勝者。
	2 部	(ア) 大会前日において、満35歳未満の者。 (イ) 大会前日において、満35歳以上の者で2部種目への出場を希望する者。
	3 部	(ア) 初心者及び大会未経験者を対象とする(高校・高専での大会出場経験者は除く) (イ) 年齢による制限なし。
年代部門	セミベテラン部	(ア) 大会前日において、満35歳以上～満50歳未満の者。 (イ) 大会前日において、満50歳以上の者でセミベテラン部の種目への出場を希望する者。
	ベテラン部	(ア) 原則として大会前日において、満50歳以上の者とする。 但し、やむを得ない事情により、 ダブルスのペアの組み方について以下の(イ)(ウ)の場合でも出場を可とする。 (イ) ダブルス種目において、満50歳以上の男女同士がペアが組んで出場することは可とする。【例】ペアの組合せ方：(男・男) (男・女) (女・女) (ウ) ペアを組む選手同士の合計年齢が90才以上である場合は可とする。 但し、いずれか一方の選手が満50才以上の者でかつもう一方の選手が40才以上の者とする。 ※(参加申込一覧〔様式-1〕に年齢が明記されているものとする)。 ※(イ)(ウ)については組合せ会議の場にて競技委員会で審査します。

3 昇格について

ア	2部の種目の優勝者について (1) 満35歳未満の者は、35歳まで「1部」に昇格する。 (2) 満35歳以上の者は、原則として直後の地区協会主催の大会より1年間は「1部」に昇格するものとする。 〔1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す〕 (3) 但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の出場を希望する場合はこの限りではない。
イ	3部の種目の優勝者について (1) 満35歳未満の者は、35歳まで「2部」に昇格する。 (2) 満35歳以上の者は、原則として直後の地区協会主催の大会より1年間は「2部」に昇格するものとし、以後は「3部」の種目への出場はできないものとする。 〔1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す〕 (3) 但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の種目に出場を希望する場合はこの限りではない。
ウ	セミベテラン部及びベテラン部の優勝者については、特に昇格を設けない。
エ	昇格は「ダブルス」・「シングルス」の種目の区分に関わらず、選手個人に対するものである。従って、ダブルスにおいて、そのパートナーを替えても昇格の条件は変わらない。

4 交流戦について

- ① トーナメント戦の種目についてのみ行う。
- ② トーナメント戦において初回戦で敗退したダブルスのペアで参加を希望する者同士で行う。
- ③ 組合せは大会当日に抽選により行う。
- ④ 各ダブルスのペアにつき1試合を原則とする。但し、参加希望者が奇数などの場合はその組合せ方法は競技委員会で検討し決定する。
- ⑤ 同一のダブルスのペアが交流戦の試合と「3位・4位の順位決定戦の試合」が重複する場合には交流戦への参加はできないものとする。

【参考】前年度大会の優勝者 (優勝カップの返還をお願いします) ※昇格対象者を含む

① [平成30年度：第45回 道南バドミントン大会] (H30年9月23日)

※ 空欄は、該当者なし

	1 MD	中村 隆志 諏訪内 翔大	(ZIPS) (N. B. T)	1 WD		
1部 昇格	2 MD			2 WD		
	SV-MD	宇美 隆浩 宮沢 佳広	(N. B. T) (N. B. T)	SV-WD		
	V-D	石田 ゆかり 水上 京子	(BLC. 06) (BLC. 06)			

① [2019年度：第44回 函館地区春季一般バドミントン大会] (2019年5月19日)

※ 空欄は、該当者なし

1部	1 MD	福士 和真 村上 晃也	(市田組) (市田組)	1 WD	廣岡 優 佐藤 美幸	(BLC. 06) (N. B. T)
	1 MS	福士 和真	(市田組)	1 WS	村中 絢	(教育大函館校)
1部 昇格 対象	2 MD			2 WD		
	2 MS			2 WS		
2部 昇格 対象	3 MD			3 WD		
	3 MS			3 WS		
	SV-MD	亀谷 正勝 杉谷 優貴	(N. B. T) (MCC)	SV-WD		
	SV-MS	田中 亨	(N. B. T)	SV-WS		
	V-D	水上 京子 石田 ゆかり	(BLC. 06) (BLC. 06)			
	V-MS					